



第11講
IT革命への国の政策

キーワード

- IT基本法

- e-Japan戦略

- u-Japan

IT基本法（2000年11月成立/2001年施行）

正式名：高度情報通信ネットワーク社会形成基本法

目的：ITの進展を活かして、国民生活の質の向上や経済社会の発展を目指すための「国家の基本方針」を定めた法律。

対象：国・地方自治体・企業・国民

IT基本法とは(その背景)

・2001年1月に施行後、2021年9月に廃止され、後継の法律としてデジタル社会形成基本法が施行された。

・当時、日本は外国に比べてインターネットの普及が大幅に遅れており、インターネットなどの情報技術を、国民の誰もが当たり前のように利用できる環境づくりや法整備をするために施行された。

・法律ではあるが、あくまで基本方針を決めたものであり法規制もなく、具体的な取り組みを定めたものではない。

e-Japan戦略(2001年成立)

・IT基本法により設置されたIT戦略本部が、2001年1月に取りまとめたもの。

・日本の政府が掲げた、IT社会の実現を目指す重要な戦略を、2000年に当時の内閣総理大臣・森喜朗氏によって提唱された。

・所信表明演説で初めてこの構想を示し、日本が情報通信技術を最大限に活用する国家を目指すべきであると明言した。

e-Japan戦略の重点政策

戦略目標：2005年に世界最先端のIT国家になる

①超高速ネットワークインフラの整備と競争政策

②電子商取引ルールと新たな環境整備

③電子政府の実現

④人材の育成

u-Japan(2004年11月成立)

- ・IT戦略本部が策定したe-Japan戦略の後継

- ・e-Japan戦略で整備されたネットワーク・インフラやITサービスを、日本を世界最先端の「ユビキタスネット社会」へ発展させていくことを目指す。

- ・ユビキタスネットワーク社会とは、誰もが、いつでも、どこでも、ネットワークを利用してサービスを受けたり、情報をやり取りしたりできる社会のことを。

u-Japan(ユビキタスネット・ジャパン)の理念

1つの「U」と3の「U」
から構成

一つの「U」は上記の
「ユビキタス」

三つの「U」は、
「ユニバーサル」「ユー
ザー・オリエンティッド」、
「ユニーク」

1つの「U」と3の「U」



・ユビキタス
(Ubiquitous) あら
ゆる人や物が結び
つく

01

・ユニバーサル
(Universal) 人に優
しい心と心の触れ
合い

02

・ユーザーオリエン
テッド (User-
oriented) 利用者視
点が融けこむ

03

・ユニーク (Unique)
個性ある活力が湧
き上がる

まとめ(今の日本の状況を踏まえて)

- ・2021年には、「IT基本法」が廃止され、「デジタル社会形成基本法」がスタート。

- ・デジタル庁の設立、法律や見直しを進行中(マイナンバー拡張など)

- ・すべての人に行き届くデジタル社会へ

参考文献

- ・IT基本法（高度情報通信ネットワーク社会形成基本法）

[IT基本法（高度情報通信ネットワーク社会形成基本法） | セラクコラム](#)

- ・e-Japan戦略

[E-Japanとは？ 意味をやさしく解説 - サードペディア百科事典](#)

- ・[e-Japan戦略の総括と今後のIT政策](#)

- ・u-Japan

[u-Japan | 日経クロステック\(xTECH\)](#)

[u-Japanの理念](#)

ご清聴ありがとうございました！